

令和 7 年 度 事 業 の 概 況
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

令和7年度は、米国関税政策発動による世界的な影響が懸念されましたが、徐々に先行きの不透明感が薄れたことや、国内の物価や賃金の上昇等から、日本銀行は政策金利を約30年振りの高水準となる0.75%へ引き上げました。また、日米の株価が史上最高値を更新するなど、世界経済は概ね堅調に推移しました。

しかし、令和7年度終盤に中東情勢がにわかに緊迫化し、先行きの不確実性が急激に高まりました。政治、経済、金融などあらゆる面で日本への影響も大きく、今後の情勢は予断を許しません。令和8年度につきましても不確実性が高く、国内外ともに先行きが見通しにくい状況が続いています。

当組合の第四次中期経営計画では、『医師専門の金融機関として、地域医療の発展に貢献する』ことを基本方針に掲げています。富山県医師会の関連団体として、先生方に安心・信頼してお取引いただけるよう、財務基盤の充実に努めるとともに、健全なガバナンス態勢を確保し、堅実な経営を実践することとしています。

また、当組合は経済・金融環境が大きく変化する中でも、先生方のお役にたてるよう、預金金利はできる限り高く、貸出金利はできる限り低く設定しております。

令和8年3月末の実績は、預金につきましては、年間1,859百万円の減少となりました。貸出金につきましては、新規開業や住宅資金等への積極的な取り組みにより年間428百万円の増加となりました。収益につきましては、コア業務純益は230百万円、当期純利益は128百万円と相応の利益を確保しました。経営体力につきましては、自己資本比率は24%台と高い水準を維持しております。組合員数につきましては、年間で37名の脱退がありましたが、ウエルカムローンやマイカーローンをはじめ魅力ある商品が浸透したことにより、勤務医の先生方を中心に45名の加入があり、8名増加しました。

令和7年度は、当組合創立60周年を迎えました。引き続き、医師会員・組合員のために設立された非営利目的の金融機関としての原点と、先人の皆様、先生方への感謝を忘れることなく、医業域信用組合ならではの取り組みを地道に継続していく所存ですので、引き続き当組合をご利用賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(単位：百万円)

主 要 勘 定	当 期 末 (8 . 3 . 3 1)	前 期 末 (7 . 3 . 3 1)	増 減
総 預 金 (期 中 平 均 残 高)	35,625 (36,842)	37,484 (38,260)	△1,859 (△1,418)
総 貸 出 (期 中 平 均 残 高)	8,566 (8,431)	8,138 (7,829)	428 (602)
有 価 証 券 (期 中 平 均 残 高)	23,355 (24,625)	26,136 (24,146)	△2,781 (479)
預 け 金 (期 中 平 均 残 高)	10,389 (10,195)	9,990 (13,070)	399 (△2,875)
コ ア 業 務 純 益	230	216	14
経 常 利 益	167	198	△31
当 期 純 利 益	128	126	2
自 己 資 本 比 率	24.78%	23.14%	1.64%
組 合 員 数	1,388 先	1,380 先	8 先